

平成 25 年度第 3 回うらやす市民大学運営委員会議事要旨

- 日 時 : 平成 25 年 11 月 8 日 午前 10 時 00 分～11 時 45 分
- 場 所 : うらやす市民大学受講室
- 出席者 : 古在委員長、山内副委員長、宮崎委員、阪本委員、大村委員、寺田委員、豊田委員、早坂委員、笥委員、石川委員、伊藤委員
- 事務局 : 小檜山市長公室次長、村田協働推進課長、斎藤係長、岩波事務長、高梨主幹、森主事

■会議次第 :

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 議 事
 - (1) 特別授業科目(市民参加・協働を学び行動する)の募集結果について
 - (2) 平成 26 年度授業科目編成について
4. 報告事項
 - (1) 市民大学冊子編集委員会(活動報告)
 - (2) 地球温暖化公開講演会について
5. 事務連絡
6. 閉 会

■決定事項

- ・これまでの市民大学全体の評価を検討していく。
- ・次回の運営委員会開催を 12 月 11 日(水)午前 10 時からとする。

■議事概要 :

- (1) 特別授業科目(市民参加・協働を学び行動する)の募集結果について

□事務局説明

- ・「うらやすの市民参加・協働を学び行動する」について、2日間(12月13日、20日)に授業を短縮し、対象は市民大学の学生以外も可とし、9月の一か月間で再募集した。結果、23名の応募があり、内訳は学生22名、その他1名であった。また、行政の連携も重要となる「協働」講座であるため、4部署から13日に7名、20日に6名が参加する。

■議事概要：

(2) 平成 26 年度授業科目編成について

□事務局説明

○26 年度カリキュラム編成中間報告

- ・これまで 4 回のカリキュラム検討ワーキング部会にてカリキュラム検討

○授業科目編成の基本的な考え方

- ・大学事業の評価項目(市民参加・協働推進度)に貢献できる授業科目編成になっているか。
- ・重要分野(地域貢献活動)をカバーしているか。
- ・大学事業が維持可能な科目編成になっているか。
- ・各科目の位置付け(性質的分類)と内容が一致しているか。
- ・市民や学生ニーズが反映されているか。

○カリキュラム体系

- ・市民大学の学生が、ステップアップすることができる、カリキュラム編成を目指していく。
- ・「出会い」、「気づき」、「担い」科目群に位置付けて検討
- ・今後に向けて、市民活動・協働を実践するリーダー及び市民大学の講師の養成として、「担い手リーダー養成・研究」科目群について検討

○26 年度カリキュラム編成にあたって

- ・協働の担い手等への実践に繋げていくことができるよう、「担い手科目群」の各受講科目の中に、それぞれ協働をテーマとした授業(3 コマ)を盛り込む。
- ・授業科目制(出会い・気づき・担い)をより明確にするため、カリキュラムやシラバスに、メリハリをつけていく。
- ・年間の授業科目数及び授業回数は、25 年度と同程度(授業科目数 17 授業回数 230 回)とする。

○全般的検討事項

- ・「協働」授業科目のあり方について、市民大学として「協働」をテーマとした科目ないしは授業は、必須である。
- ・各担い手科目の出口として、シラバス終盤授業の 3 コマにそれぞれの分野ごとに協働の授業を盛り込む。
- ・修了生等による科目コーディネーションの推進について、担い手科目を中心に、科目修了生とコーディネーターが協力し合い授業を進めていく、副コーディネーター制等の導入検討も必要。

- ・現役世代の獲得について、休日や夜間開講、関心・興味をひく内容、若者にマッチングした講座、6～7回の柔軟な授業回数の検討も必要。

○新規講座について

- ・パソコン講座・・・現在自主講座で行っている人気の講座であるが、カルチャーセンター等でも行われている。また、市民大学で行う場合の金額は一般的に行われている金額よりも低いため差をつけて行うのもどうか、という意見があった。
- ・経済講座・・・再開要望が多数ある。
- ・ファシリテーション講座・・・リーダーを目指している方に向けて、コミュニケーション技術を取得する講座
- ・浦安のまちづくりとディズニー・・・浦安のまちづくりと巨大テーマパークの形成の歴史。
- ・成年後見人養成講座（基礎編）・・・社会福祉協議会より市民大学で行えないか要望あり。

□主な意見

- ・昨年の「協働」受講者からは、理論は分かったがどうやって協働事業に参加するか分からなかったという意見があった。協働の理論の話だけでなく、協働に繋げるために、その分野の行政担当から公共サービス、市民参加・協働に期待することを話していただき、ディスカッションするといことで出口を明確にしたらどうか。
- ・「気づき」、「担い」の差異があまり見られない。明確にしていく必要がある。
- ・運営側が市民大学の学生に対する評価をする必要があるのではないか。
- ・来年度、市民大学を設立してからの全体の評価をしていきたいと考えている。
- ・評価の軸が大切であり、企業とは違う市民大学という組織の評価の軸が何であるかが重要である。

□学生会活動報告

○冊子制作・編集委員会報告

- ・副学長、講師の先生方へ寄稿のお願い
- ・9月中旬より16講座へ出向き、学生へ冊子概要の説明とお願い

□地球温暖化公開講演会について

- ・主催：うらやす市民大学、協力：温暖化防止うらやすで共同開催
- ・国立環境研究所の講師3名に講演をお願い
- ・対象は市民大学以外も可で定員100名

次回第4回運営委員会開催日程は、平成25年12月11日（水）午前10時から市民大学受講室で開催。

以上